

中・四国地方支部 新春旗開き 干支の馬のように飛躍する年に

1月14日、中・四国地方支部3階大会議室で中・四国地方支部新春旗開きを開催し、職場委員をはじめ現場組合員、組合政治参与、中国運輸局、関係団体、会社関係者など約80人が出席した。

旗開きは宮川脩生中・四国地方支部次長の司会で開会し、主催者を代表し除補修中・四国地方支部長が「海運業界においては、後継者の確保・育成が喫緊の課題であるが、今年の干支の馬のように飛躍し、全力で取り組んでいきたい」とあいさつした。

続いて組合を代表し田中伸一組合長代行が「海運分野の有効求人倍率は跳ね上がっており、船員後継者が枯渇する危機的な状況となっている。全国各地で体験乗船などの活動を地道に行い、子どもたちが船員になりたいと思うところを目指したい。また、海運は成長を求められている分野であり、新燃料や自動運航などの新しい技術が、より安全な船舶の建造や船員の労務軽減・安全向上につながっていく期待感もある。こうした新しい取り組みにも現場の安全を第一に、恐れることなく挑戦していきたいと考えている」とあいさつした。

その後、来賓の中国運輸局海事振興部の妹尾光晴次長、連合広島の大野真人会長、組合政治参与の森本真治参議院議員から祝辞が述べられ、防予フェリー株式会社の棚田洋職場委員が乾杯の音頭をとった。ゆったりした歓談の後、遊佐清和尾道支部長が締めあいさつを行い、全員で今年一年の団結を誓った。

「海員だより」